

# City of Yokohama Annual Report on CITYNET Projects

横浜市シティネット事業年次報告書 2024

# 2024



CITY OF YOKOHAMA



2024年6月24-28日  
ソウル SDG ワークショップ  
(p11)



2024年7月24-27日  
韓国会員視察団の受入れ  
(p9)



2024年9月19-21日  
防災分科会セミナー  
(p11)



2024年10月22-24日  
SDGs 分科会セミナー  
(p5)



2024年11月8日  
モンゴル・ウランバートル  
の学校との交流 (p3)



2024年11月16-24日  
環境絵日記展  
(p4)



2024年11月28日  
フィリピン・サンフェルナンド  
市 VLR オリエンテーション  
(p7)



2025年1月23日  
インドネシア・スマラン市の  
学校との交流 (p3)



2025年2月6-10日  
フィリピン・マカティ市  
視察団の受入れ(p9)



2025年2月24-25日  
APFSD でのフィリピン・  
サンタローザ市 VLR ロー  
ンチ(p7)

## はじめに

横浜市は、シティネットの会員都市として、これまで技術、経験、情報の交流を通じ、よりよい都市づくりの貢献に努めてきました。1992年から2013年には、シティネットの初代会長都市として、横浜市に設置されたシティネット事務局の運営支援に尽力しました。さらに、2013年には国際協力事業を担う組織としてシティネット横浜プロジェクトオフィス(CYO)を新設し、シティネット会員都市や団体を対象に、国際協力事業を展開してきました。

2024年度においては、特に次世代育成やシティネット会員都市の都市課題解決に向けた国際協力活動を推進し、会員都市とのネットワークの活用・強化、さらにアジア太平洋地域におけるSDGs・脱炭素の取組推進に寄与してまいりました。本報告書では、広く市民や、シティネット会員都市、その他の関連組織の皆様に、横浜市の活動を知っていただけるよう、横浜市が実施してきたシティネット事業の取組に焦点を当てて、紹介しています。

今後も、横浜市はCYOとの連携を一層深め、横浜市及び日本の豊富な知見・経験や技術を共有することで、シティネット会員が抱える都市問題の解決に貢献してまいります。

横浜市シティネット事業年次報告書2024の刊行に寄せて



栗田 るみ  
シティネット横浜 プロジェクトオフィス所長

世界各地では、急速な都市化に伴い、貧困、環境汚染、気候変動、交通渋滞、エネルギー資源の枯渇など、複雑な都市課題が深刻化しております。これらの課題に対し、国際社会は「持続可能な開発目標(SDGs)」を掲げ、2030年までに経済・社会・環境が調和した発展を実現する取組を推進しています。

CYOは、横浜市やシティネット関係者と連携し、防災や気候変動など複数の分野において、各会員の先進技術と知見を相互に発信・共有することで、都市レベルでのSDGs達成に向けた取組を推進しております。

本報告書は、2024年度の成果を取りまとめたもので、未来を担うユースの取組や、事業者などと連携して進めるSDGsへの各種取組の紹介など、幅広い活動が報告されています。

横浜市とともに、これまで蓄積してきた経験を活かし、シティネットのネットワークを活用しながら、アジア太平洋地域の持続可能な都市づくりを先導してまいります。

今後とも、皆様のご期待に応えられるよう努めてまいります。皆様の温かいご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

## Table of Contents

横浜市とシティネット事業	.....	P1-2
SDGsに係る次世代育成の活動	.....	P3-4
SDGs分科会セミナーの開催	.....	P5-6
SDGs達成に向けた海外都市支援	.....	P7-8
海外都市との知見・経験の共有	.....	P9-12
ウェブサイト・ニュースレター等での広報活動	.....	P13
2025年度の活動予定	.....	P14

## SDGsとは？

持続可能な開発目標(SDGs:SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS)とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



# 1

## 横浜市とシティネット事業

### シティネットとは

シティネット(アジア太平洋都市間協力ネットワーク)は、1987年に国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)、国連開発計画(UNDP)、そして国連人間居住計画(UN-HABITAT)の支援のもとに設立された非営利の国際組織で、162の都市・団体等で構成されています(2023年12月現在)。大韓民国ソウル特別市に事務局を置き、会員都市の抱える都市課題に対応できるよう、能力開発ワークショップ等の開催、都市間協力支援などを通じて、より持続可能で強靭な都市の構築に向けた活動を推進しています。

また、都市のあらゆるステークホルダーを繋げ、アジア太平洋地域の都市が直面する都市問題に具体的なソリューションを提供することを目的とし、各会員が「気候変動」、「防災」、「SDGs」の3つの分科会に分かれて活動しています。



### 横浜市とシティネット

横浜市は、シティネットの設立当初(1987年)から会員都市として加盟しており、第1回シティネット総会(1989年)では、初代会長に選出されました。その後、第7回シティネット総会(2013年)では、これまでの貢献が認められ、名誉会長都市に選出され、現在も名誉会長都市を務めています。

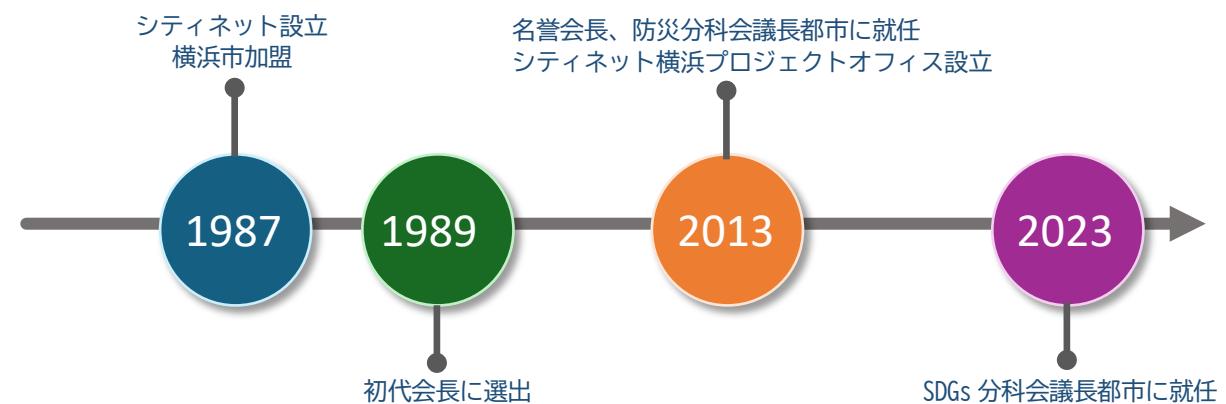
また、横浜市は防災分科会の議長都市を2013年から2022年まで務め、シティネット横浜プロジェクトオフィス(CYO)と連携し、防災セミナーの開催や会員都市からの研修及び視察の受入、専門家の派遣、覚書に基づく長期的な支援事業等を通じて、国際貢献を行ってきました。例えば、フィリピンのイロイロ市におけるコミュニティ防災推進事業、ネパールのカトマンズ市における震災復興支援事業、フィリピンのマカティ市における危機管理人材育成支援事業などを実施してきました。

2023年からはSDGs分科会の議長都市に就任し、様々な関係者と連携してSDGs達成に向けた取組を推進しています。具体的には、次世代におけるSDGs推進の取組として、横浜市とモンゴルのウランバートル市の学校間におけるオンラインの交流活動を実施し、子ども達がSDGsを日常生活の一部

として捉え、持続可能な行動を率先して実践するよう働きかけを進めています。また、シティネットSDGs分科会セミナーを横浜で開催し、シティネット会員のみならず、国際機関、民間企業、そして学術機関などと共に各々のSDGsの取組や脱炭素に向けた取組紹介などを実施し、シティネット会員の知見共有を進めています。



CYOによるシティネット事務局訪問



### シティネット横浜プロジェクトオフィス(CYO)

シティネット横浜プロジェクトオフィス(CYO)は、2013年にシティネット事務局が横浜市からソウル特別市に移転したのを契機として、国際協力事業を担う組織として新設されました。シティネット加盟都市や団体を対象に、横浜市と連携して国際協力事業を展開しています。

場所  
連絡先  
横浜市西区みなとみらい1-1-1横浜国際協力センター6階  
045-221-1214  
[citizenet.yokohama@gmail.com](mailto:citizenet.yokohama@gmail.com)



ウェブサイトは[こちら](#)



## 2 SDGs に係る次世代育成の活動

### 事業目的

横浜市は、CYO と連携して、2022 年から、横浜市の小学校と海外の学校との SDGs に係る交流活動を支援してきました。この支援活動では、子ども達が SDGs を日常生活の一部として捉え、持続可能な行動を率先して実践することを目的としています。また、その成果を市民向けのイベントで共有することで、市民の皆さんにも 2030 年に向けて、持続可能な世界の実現のための行動を意識していただくことも狙いです。こうした取組をシティネット会員都市へ発信し、海外都市において同様の取組を拡大することで一層の SDGs 推進につなげることを目指します。

### モンゴル国ウランバートル市との交流



2022 年から交流を続けてきたみなとみらい本町小学校(日本)とウランバートル第 23 学校(モンゴル)は、これまでの交流事業の成果をふまえ、2024 年 3 月に両学校の間で SDGs に関する教育連携の合意覚書を結びました。この覚書にて、SDGs に関する教育活動の連携を更に発展させることを目的として、中・長期的に SDGs に関する知見・課題・意見を共有するための学生間交流会等の実施や連絡体制の確立による継続的な協力促進を図ることを合意しました。

### 2024 年度の交流の様子

3 年目となる 2024 年度は、みなとみらい本町小学校の 4 年生とウランバートル第 23 学校の 4・6 年生が参加する交流活動を実施しました。オンラインの交流会に先立ち、お互いの学校紹介ビデオを交換することで、子ども達が関心をもって臨みました。また、遠隔地にいる子ども達がお互いをより身近に感じつつコミュニケーションをと



ることができますように、新たにバーチャルリアリティ(VR)技術を活用しました。実際にメタバース空間上でアバターを操作しながら、子ども達が作成した発表資料や動画などを閲覧できるように設定し、交流会では、子ども達が普段実践しているごみ問題解決への取組や、お互いの取組に対する質疑応答が活発に行われました。交流会を通じて、お互いの課題認識や取組のみならず、国の文化についても知ることができ、友好を深める機会となりました。

### インドネシア国スマラン市との交流

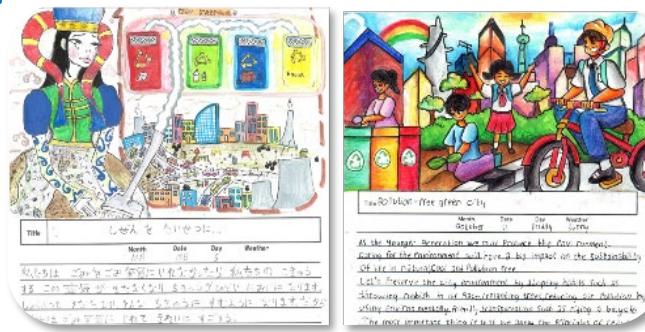
2024 年度は新しくスマラン市の学校とも交流活動を実施しました。両校の 4 年生が環境や防災をテーマとして学校で実施している取組の紹介や、自分の住むまちを将来どのようなまちにしたいかといった意見交換が活発に行われました。子どもたちからの意見はメタバース空間上に表示され、お互いに共通する、あるいは異なる価値観を確認し合うことで、SDGs の視点からより深く身近な課題を考えるきっかけづくりとなりました。



理想のまちに関する子どもたちからの意見

### 市民向け SDGs 啓発イベントでの取組紹介

#### 寄せられた子どもたちの作品例



ウランバートル及びスマランの子ども達から、2024 年 11 月に行われた「SDGs 未来都市・環境絵日記展 2024」へ、30 点以上の絵日記の作品を寄せていただき、身近な環境問題や自国の文化に対する自らの考えを作品に込めていただきました。展示会最終日に実施された表彰式では、ウランバートルの子どもたちからのビデオメッセージも紹介されました。

また、2024 年 11 月に開催されたアジア・スマートシティ会議では、みなとみらい本町小学校の子ども達が SDGs 達成に向けた思いを込めて作成した校歌「いろとりどりの未来」やウランバートル第 23 学校の子ども達による、環境絵日記の作品がメタバース空間上の展示室を通じて紹介されました。



VR 展示室内の様子

### 3 SDGs 分科会セミナーの開催

#### SDGs 分科会セミナー2024

2023年に引き続き、横浜市内で開催されたアジア・スマートシティ会議の中で、シティネットSDGs分科会セミナーを開催しました。SDGs分科会会員のみならず、シティネット会員が一同に会し、セミナーやネットワーキング等を通じて各都市の取組・知見の共有を図ることを目的としています。

10月24日に行われたSDGs分科会セミナーでは、横浜市を含むシティネット会員都市・団体、関連国際機関が登壇し、シティネットのネットワークを活用したSDGsや気候変動対策の取組に係る知見を紹介しました。また、SDGsと気候変動対策の各都市へのローカリゼーション※及び両者の相乗効果を焦点に議論が行われました。

また、10月22日には、シティネット会員を対象としたネットワーキングイベントを実施しました。ネットワーキングイベントでは、シティネット会員を対象としたSDGsアンケート調査結果の報告やシティネット会員都市による自発的ローカルレビュー(Voluntary Local Review: VLR)実施の進捗報告等が行われました(P.8参照)。

※SDGsのローカリゼーションとは、SDGsのグローバルな目標を現地の地域状況に反映させ、目標をもって行動する取組。

##### 分科会セミナー2024 セッション概要

- テーマ:SDGsと気候変動対策のシナジー - シティネットのネットワーク活用に向けて
- 参加者数:約120名(うちシティネット会員12都市・団体)



#### アジア・スマートシティ会議 ASCC



アジア・スマートシティ会議(Asia Smart City Conference:ASCC)は、アジア諸都市、政府機関、国際機関、学術機関及び民間企業等が一堂に会し、アジアにおける持続可能な都市づくりに関する知見や実践事例を共有する国際会議です。横浜市は、第13回目となるASCCを、2024年10月23日~24日にパシフィコ横浜で開催し、海外46か国から延べ2,200人以上が参加しました。18のセッションでは、「脱炭素」をテーマに、アジアの都市、国際機関、企業、学生など国内外の多様なステークホルダーが集い、持続可能なグリーン社会の実現に向けた課題や成長へのビジョン、先進的な技術によるソリューションを共有しました。また、世界銀行東京開発ラーニングセンター(世界銀行 TDLC)、アジア開発銀行研究所(ADBI)、経済協力開発機構(OECD)、国際協力機構(JICA)、国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)、シティネット(CITYNET)などの国際機関と、会議に参加した39の海外都市等に賛同いただき、アジアのグリーン社会の実現に向けた横浜宣言を行いました。さらに、約50の企業・団体による展示ブースが設置され、1,100件を超えるビジネス交流が行われました。

イベントの概要・報告書、アーカイブビデオ映像は、以下のウェブサイトにて公開しております。見逃した方は、ぜひご覧ください。



第13回 ASCC ウェブサイト

## 4

# SDGs 達成に向けた海外都市支援

## 海外都市の SDGs 推進・VLR 実施支援

横浜市はシティネットの活動を通じて、これまで様々な都市における SDGs 推進・VLR 実施に向けて支援を行ってきました。2024 年度には、主にフィリピンのサンタローザ市、バギオ市、サンフェルナンド市と、オンラインや対面で議論を進めてきました。

具体的には、サンタローザ市の VLR 実施プロセスの中で、ステークホルダー協議に参加したり、レポートの草案へのピアレビューをするなどの協力を実施しました。2025 年 2 月にタイ・バンコクで行われた第 12 回持続可能な開発に関するアジア太平洋フォーラム(APFSD12)では、サンタローザ VLR のローンチイベントを IGES などと共に催しました。



SDGs・VLR に関する取組紹介の様子

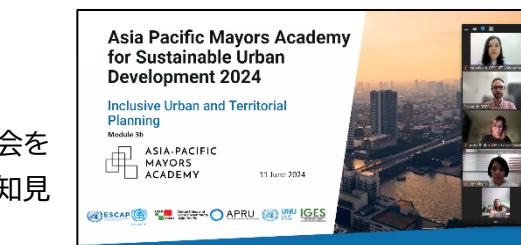
## その他 VLR 関連活動

横浜市および CYO は、国際機関等と連携し、様々な機会を活用して、横浜市の SDGs の取組や VLR について経験・知見の発信を積極的に進めています。

2024 年度

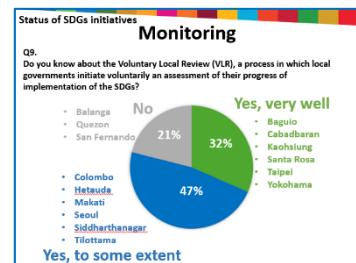
### 国際会議・セミナー等での VLR に関する登壇機会 計6件

- ・持続可能な都市開発のためのアジア太平洋首長アカデミー(6月)
- ・アジア太平洋地域の地方自治体のための VLR と SDGs のローカリゼーションに関するウェビナー(11月)
- ・地方レベルでの SDGs のフォローアップとレビューの強化に関する IGES ウェビナー(2月) 等



## SDGs アンケートの実施

2023 年度から、シティネット会員都市向けに SDGs の取組状況や SDGs 分科会へのニーズ等に関するアンケート調査を行っています。このアンケート調査は、シティネット会員が SDGs の取組をどのように進めてきたかを理解し、2030 年に向けて SDGs をさらに推進するためにはどうすればよいか、といった洞察を得るために実施しました。



2024 年度は 18 のシティネット会員都市・団体から回答をいただき、その分析結果はシティネット SDGs 分科会やニュースレター等で会員都市と共有しました。さらに、市内企業等向けのワークショップにおいて、これまでの調査で収集したフィリピン都市の都市課題の現状・ニーズに関する情報提供を実施しました。

## 今後の展開

2024 年度は東南アジアを中心に多くの都市の VLR 実施支援を行ってきました。今後は、他の海外都市への横展開に結び付けることで、更なる SDGs の達成に向けて貢献していきます。さらに、VLR で抽出された課題解決に向けて、横浜市や企業の持つノウハウ・技術を活かした技術協力につながる取組を進めていきます。

### 自発的ローカルレビュー（VLR）とは

自発的ローカルレビュー(Voluntary Local Review: VLR)とは、国連が定めた「持続可能な開発目標(SDGs)」達成のために、世界の各都市が SDGs の取組を自発的に検証し、SDGs の普及やより良い取組に結び付けていく取組です。各都市はその検証結果をレポートとしてとりまとめ、国際連合に報告しています。

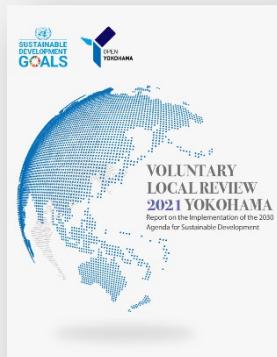
横浜市は、2021 年 10 月に開催された「第 10 回アジア・スマートシティ会議」で横浜市の VLR を初めて発表しました。



←VLR についての詳細は[こちら](#)をご覧ください(国連の HP)



横浜 VLR2021 は[こちら](#)！→



## 5 海外都市との知見・経験の共有

### 視察・研修の受入れ

横浜市は、シティネットや関連国際機関、会員都市等による要請を受け、横浜での関連分野における視察・研修の受入れを行っています。

### シティネット韓国会員を対象とした SDGs 研修

- 日程:2024年7月24日~27日(4日間)
- 訪問者:CITYNET 事務局、ソウル特別市、釜山広域市、水原市、鍾路区、東大門区、道峰区、ソウル研究所、ソウルデジタル財団、ソウル観光公社より12名
- 内容:脱炭素、高齢者福祉を含むセッションのほか、視察(みなとみらい21 熱供給株式会社(MM21DHC社)、ヨコハマSDGsデザインセンター(YSDC)、ランドマークタワースカイガーデン)を行い、特にSDGsゴール3,7,8,9,11,12,13,17に係る取組や知見の共有を行うとともに、アクションプランの作成・発表を行いました。



### 台湾・桃園市視察団受入れ

- 日程:2024年7月16日(1日間)
- 訪問者:台湾・桃園市政府スマートシティ・コミュニティ開発委員会4名
- 内容:持続可能な社会の構築における国際協力と官民パートナーシップを強化する方法を学ぶことを目的として、横浜市が官民連携で取り組むSDGsに係る活動やIGESと連携しVLRの取組を紹介しました。

#### 台湾・桃園市視察団



SDGs・VLR取組紹介の様子

### フィリピン・マカティ市防災視察団受入れ

- 日程:2025年2月6日~10日(3日間)
- 訪問者:フィリピン・マカティ市防災・危機管理室5名
- 内容:2月6日~7日にパシフィコ横浜で行われた第29回震災対策技術展参加のために関係者が来浜したことに合わせ、横浜市の防災・危機管理関連の視察受入れを実施しました。具体的には、消防本部庁舎・消防司令センター・市民防災センターの視察のほか、横浜市危機管理室及び市庁舎の耐震・防災対策の視察、密集市街地における地震火災対策や地域防災拠点に関する取組紹介を行いました。

#### フィリピン・マカティ市視察団



災害対策取組紹介/消防センター視察の様子

### 危機管理人材育成支援事業

横浜市は2022年までシティネットの防災分科会議長を務め、副議長であるマカティとの防災協力活動として、これまで危機管理人材育成支援事業を推進してきました。本事業で実施した現地調査、視察受入れ、協議などを通じて、マカティ市の消防職員を中心に、危機管理人材の育成に協力しました。



マカティ市との防災協力活動の詳細は[こちら](#)



## 5 海外都市との知見・経験の共有

### 国際会議等を通じた取組の発信

横浜市は、シティネットや関連国際機関、会員都市等が主催する国際会議・ワークショップに参加し、横浜の知見・経験をPRしています。



LNOB(Leave No One Behind: 誰一人取り残さないという SDGsの基本理念)の能力開発を目的として、2024年6月25日から6月28日にソウルでシティネット事務局主催の「SDG ベンチマークワーキングワークショップ」が開催されました。横浜市からは、横浜市 SDGs 認証制度“Y-SDGs”的事業紹介を行いました。

また、「格差と不平等の時代における社会的弱者政策の道筋」をテーマに、ソウル特別市主催で行われた「ソウル GTSN(Going Together with the Socially Neglected)フォーラム」にも出席し、横浜市の高齢者福祉施策の取組発表を行いました。

2024年9月19日から9月21日に台北で台北市及びシティネット防災分科会主催の「第16回シティネット防災分科会セミナー」が開催されました。本セミナーでは、「人間中心のレジリエントな都市」をテーマに、データガバナンス、防災における GESDI(ジェンダー平等、障害、社会的包摶)の主流化、気候変動への適応のための行動、災害リスクファイナンス等のトピックでセッションが行われ、今後の課題への解決策が議論されました。

横浜を代表して、CYOより、気候変動のセッションに登壇し、横浜市の気候変動適応策に関する取組を発表しました。



2024年10月8日、ESCAP、北九州市、仁川広域市主催による「第4回低炭素都市国際フォーラム」が北九州市で開催されました。18か国から約100人が参加し、持続可能で低炭素な都市の実現に向けて、課題や解決策について情報共有が図られました。横浜市からは、「都市の強靭化に向けたGXのためのイノベーションと技術」のセッションで、横浜市の脱炭素先行地域の取組をはじめとした脱炭素推進の取組を発表しました。



### 横浜市が推進するSDGs活動例

#### 横浜市 SDGs 認証制度

##### “Y-SDGs”

横浜市内外の企業・団体等の SDGs 達成に向けた取組を後押しするため、事業者の取組を環境・社会・ガバナンス・地域の4分野 30 項目で評価し、「最上位・上位・標準」の3段階で横浜市が認証する制度です。持続可能な経営・運営への転換や、投資家・金融機関による投融資判断への活用等を目指しています。

2020年の制度創設以来、2025年3月までに計14回の認証により、のべ842者(最上位:86者、上位:186者、標準:587者)を認証しています。また、認証を取得いただいた企業・団体の皆様には、横浜市入札時の加点や信用保証料の助成などのメリットを提供しています。



#### 食品ロス削減 SDGs ロッカー

消費期限内でありながら廃棄されてしまう食品をロッカーマシン自動販売機で購入できる取組です。

2024年1月から、食品ロスとなるパンの販売が開始され、連日数時間で完売。ロッカーマシンの設置箇所は2025年3月現在7箇所で、取り扱う食品も拡大しています。2025年1月末までに推定で、約4.6トンの食品廃棄を抑制することができました。

今後は、さらに横浜市全18区への拡大を目指し、ロッカーマシンの設置箇所の公募や、食品ロス問題を抱える企業とのマッチングを推進していきます。



## ウェブサイト・ニュースレター等での広報活動

CYOは最新の取組を横浜市のウェブサイトやCITYNETの公式ホームページ等で掲載・発信しています。今後の活動も逐次広報していきます。ぜひご覧ください。

### 横浜市シティネット事業ウェブサイト

シティネットの概要詳細や横浜市とCYOがこれまで進めてきた事業が紹介されています(二次元コードはP.2参照)。



### CYOニュースレター

2・3か月に1回、ニュースレター(日本語・英語)を発行し、シティネット事業の直近の取組状況の詳細を、シティネット会員等へ発信をしています。

#### 2024年度発行

- 5月号:第11回持続可能な開発に関するアジア太平洋フォーラム(APFSD11)のサイドイベントでの横浜市の取組発表
- 8月号:シティネット韓国視察団のSDGsをテーマとした横浜研修実施、台湾桃園市視察団の受入れ
- 11月号:第13回アジア・スマートシティ会議、シティネットSDGs分科会セミナー2024、メタバース空間での次世代SDGsアクションプロジェクトの取組等
- 1月号:ウランバートルとスマランの学校とのSDGs次世代交流活動、SDGs・VLRに関する横浜市の取組紹介オンライン登壇
- 3月号:サンタローザVLR実施支援とAPFSD12、マカティ防災視察団来浜等

### 横浜市のSDGs事例紹介

CYOはこれまで横浜市のSDGsに関連する事例を、シティネットやESCAP等が運営する「都市型SDGナレッジプラットフォーム」のデータベースを通じて、シティネット会員等に紹介してきました。また、これらの事例はY-PORTウェブサイトにも掲載しています。今後も、事例のコンテンツを拡大していく予定です。



(右)Y-PORTウェブサイト  
(左)都市型SDGナレッジプラットフォーム



### ユースを対象としたシティネットの取組紹介

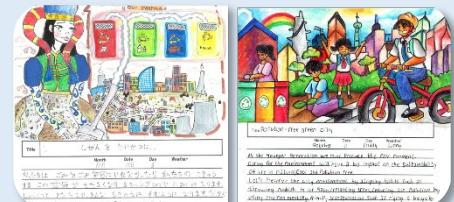
横浜国際協力センター内の国際機関等が受け入れているインターン生や小学校・高校・大学が実施するSDGs関連プログラム内で、CYOが実施する活動紹介を実施しています。2024年度は、7件約200名のユースにPRし、活発な意見交換も行いました。

## 2025年度の活動予定

2025年度も以下のようなイベントや取組が企画・検討されています。詳細は今後ウェブサイト等を通じてお知らせします。

### SDGsに係る次世代育成の活動(通年)

横浜市とモンゴルやインドネシア等の海外都市の学校間で子ども達とのSDGsに係る交流活動の支援を実施します。オンライン交流のほか、ビデオや絵日記等の作品交流を推進するとともに、11月頃に予定する市民向けイベントにて活動報告等を行います。(P.3参照)



### 海外都市のSDGs推進・VLR実施支援(通年)

シティネット会員都市へのVLR普及促進に向け、国際機関等と連携しながら、横浜市のSDGs・VLRに関する取組・知見を共有するとともに、連携都市のVLR実施への関与を進めていきます。(P.7参照)



### 第45回シティネット実行委員会(10月)

2025年の実行委員会はインドネシアのデンパサール市で実施予定です。実行委員会では、シティネットの今後の方向性や、予算・決算などに関する議論・審議が行われます。横浜市はシティネットの名誉会長であり実行委員として参加します。また、SDGs分科会議長としてCYOと連携して進めるSDGs分科会活動の成果を報告します。



### シティネットSDGs分科会セミナー(11月)

第14回ASCCが11月下旬に開催される予定です。併せて、シティネットSDGs分科会セミナーを実施します。今後SDGs分科会議長・副議長・シティネット事務局等とプログラムを企画し、8月頃に広報を行う予定です。皆さまぜひ横浜にお越しください！(P.5参照)



### 第13回ダナン都市開発フォーラム

横浜市は2013年にダナン市と技術協力に関する覚書を交わして以来、技術協力の一環として毎年都市開発フォーラムを開催しています。2024年はダナン市で開催され、ダナン市との重点協力分野であるエコ工業団地、廃棄物管理、スマートシティ開発、SDGs/VLRのテーマの議論のほか、ビジネスマッチング・視察が行われました。2025年は横浜で開催されます。



発行者  
**横浜市**

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
**YOKOHAMA**

共同編集者  
シティネット横浜  
プロジェクトオフィス

**CITYNET**  
YOKOHAMA

2025年3月発行  
All rights reserved © 2025 横浜市

